

平成 25 年 11 月 1 日

京口門だより NO. 1

このたびは三週間近くもお休みをいただき、聖光園細野診療所から私個人の漢方京口門診療所を開院いたしました。ご迷惑をおかけしました。

長く診療を受けていただいた皆様にも、新しく診療を受けていただく皆様にも、満足いただけるような漢方や鍼灸の診療をおこなってゆきたいと考えております。

漢方薬はいままでと異なった材質のエキス剤(漢方煎じ薬を濃縮、乾燥して顆粒ないし散剤にしたもの)となり、一部漢方製剤メーカーのものとなりますが、これまでと効果が異なることのないよう、工夫してまいります。健康保険は使えないのかと思われるでしょうが、健康保険にしますと、使える漢方薬が限られてしまい、自由に漢方薬を使うことができなくなります。健康保険と自費と混合はできないのかと思われるかもしれませんが、今の健康保険制度ではできないことになっています。ご負担をおかけしますが、少しでも効果のある漢方治療をおこなってまいりたいと思っております。

どうしてもエキス剤が使えない漢方薬は、煎じ薬を使わせていただきます。私も自分自身が服用する漢方薬は、煎じ薬を作って飲んでいますが、なかなか味わい深いものがあります。少し高価ですが、自動煎じ器というものがあり、煎じることには失敗しないように作ることができます。あるいは土瓶で煎じることでもできます。しかし、エキス剤でできるものは、できるだけエキス剤にしてゆきます。分量が今までより少し多めになるかもしれませんが、ご容赦願いたいと思います。

血液検査や機器による検査(レントゲン検査、超音波検査、CT、MRI など)も広島市医師会検査センター(千田町)で依頼して行えます。健康保険で受けることができます。またご希望の病院や他院への紹介もいたしますので、お申しただけであれば紹介させていただきます。現代医学の優れた面は多くありますが、病気によっては漢方治療がより優れた治療効果を発揮するものもあります。よくお尋ねいただきたいと思います。

今年は寒い冬になるとか、風邪には充分ご注意ください。

